

令和5年度 SDGsの実現に向けた教育推進事業

市町名 蓮田市

学校名 蓮田市立蓮田南中学校

1 育成する能力

6つの資質・能力

- ・課題発見力（探求課題を自ら設定することができる）
- ・主体性（課題解決のために自ら進んで活動しようとしている）
- ・協働性（課題解決のために友達と力を合わせようとしている）
- ・論理性（情報を、分類、整理し、筋道を立てることができる）
- ・創造性（新しい価値や組み合わせ、発想を見出すことができる）
- ・社会的関係形成力（よりよい社会づくりのために、地域や企業の人たちと協力しようとしている）

2 研究概要

(1) 取り組むSDGsの目標



(2) 研究主題

持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の育成
～未来創造型PBL★2ndステージ「気づく、探求する、参画する」～

(3) 研究仮説

持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力を明確化して、地域や企業等と連携して「SDGsの実現に向けて社会とつながる教科横断的な探求・プロジェクト型学習（PBL）」を小・中9年間を見通して工夫して実施すれば、「課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力」を育成することができるだろう。

3 企業・団体との連携

(1) 連携・協働する企業・団体

環境に関する企業等（1年）農家、スターバックスコーヒージャパン
福祉に関する企業等（2年）蓮田市社会福祉課、
国際理解に関する企業等（3年）ピジョン、埼玉県庁

(2) 連携・協働する主な内容

- （1年）田植え体験、稲刈り体験、農業に関する講演会、SDGs 発表会
- （2年）蓮田市の福祉の実態についての講演会、車椅子体験・ポッチャ体験
- （3年）妊婦体験・ベビーカー体験、SDGs 発表会

4 事業実施概要

月 日	事業内容	場 所	対 象
5月9日	農業体験 ・学区内の農家の方を講師に招き、田植え体験を行う。	本校前水田	第1学年生徒 約100名

6月7日	農業講演会 ・田植えを指導していただいた方に稲の育て方について講演をいただく。	本校体育館	第1学年生徒 約100名
6月20日	SDGs職員研修会 ・埼玉大学教授よりSDGsについての講義を受ける。	蓮田市立黒浜南小学校	本校教職員 約40名
7月13日	消費者教育 ・住友生命の方を講師に生き方についての講義をいただく。	本校音楽室	第3学年生徒 約120名
7月14日	令和5年度第1回SDGsの実現に向けた教育推進事業研究協議会	zoomミーティング	校長、研修主任
8月21日	SDGs職員研修会 ・大学教授よりSDGsの講義を受ける。	本校理科室	本校教職員 約40名
9月12日	農業体験 ・学区内の農家の方を講師に招き、稲刈り体験を行う。	本校前水田	第1学年生徒 約100名
10月4日	福祉講演会 ・社会福祉協議会の方を講師に地域福祉についての講義とグループ学習を行った。	本校体育館	第2学年生徒 約100名
10月6日	SDGs基礎講演会 ・県庁計画調整課の方を講師に、SDGsについての基礎学習を行った。	本校体育館	全校生徒 約320名
11月13日	子育て体験 ・ピジョン株式会社による中学生対象の出前授業。子供にやさしい未来のためにをテーマに妊婦体験と乳母車体験を行った。	本校体育館	第3学年生徒 約120名
11月15日	人権学習会 ・「コンプレックスは武器になる」という題で差別と生き方について講演をいただく。	本校体育館	全校生徒 約320名
12月6日	福祉体験 ・障害者スポーツと車椅子の体験を行う。	本校体育館	第2学年生徒 約100名
12月7日	エコプロダクツ訪問 ・企業の環境への取組を知るため、東京ビッグサイトで開催の本取組に参加した。	東京ビッグサイト	第1学年生徒 約100名
12月14日	SDGs発表会 ・代表生徒12名が世界を取り巻く諸問題について調べた結果を発表した。県庁計画調整課の方に講評をいただいた。	本校体育館	第3学年生徒 約120名
2月5日	SDGs発表会 ・福祉について調べたことを2年生の代表3グループが全体発表をした。各グループで調べたまとめボードを展示した。	本校体育館	第2学年生徒 約100名
2月7日	令和5年度第2回SDGsの実現に向けた教育推進事業研究協議会	Zoomミーティング	校長、研修主任
2月20日	SDGs講演会 ・スターバックスの方々を講師に「サステナビリティ」について講義を行う。	本校体育館	第1学年生徒 約100名

2月27日	SDGs発表会 ・環境についての提言の発表を行う。	本校体育館	第1学年生徒 約100名
-------	------------------------------	-------	-----------------

5 成果と課題

○ 生徒の変容

- ・ 全校で「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探求のプロセスを重視したことで、学びの質的高まりが見られた。
- ・ 体験活動を今まで以上に重視することで、社会的課題を自分事として捉えることができた。
- ・ 地域や企業との連携を充実させることで、社会との繋がりを持ち、主体的に学ぶ意欲（主体性）を高めることができた。
- ・ 企業による出前授業や県庁の方を招いての発表会など、学校外の方と交流することを通し、社会とのつながりを持ち、自分の声が社会に届くという体験をすることができた。
- ・ SDGsは環境問題だけでなく、人権や男女差別など日常生活の様々な場面で関連しているということを知り、興味関心を深めることにつながった。

○ 学校全体の変容

- ・ 総合的学習の時間の充実（SDGsに取り組む時間の確保）
- ・ 企業や団体に向けて、提案することをゴールとすることが共通認識できた。

○ 令和6年度に向けての課題

- ・ 課題発見力を高めるための学習過程の工夫。
- ・ 地域や企業との連携のさらなる充実。
- ・ 生活に生かせる質の高い新しいアイデアを出せる「創造性」のさらなる育成。
- ・ 提言を発表することがゴールになっていた。自分たちにできることを実行するところまでを目標にカリキュラムを修正する必要がある。
- ・ 新聞を作成する際、調べる内容に重点を置く生徒が多く、提言まで十分に深めることが難しい様子であった。調べることを通して新たな疑問や課題を持ち、自分の考えや提言まで掘り下げて考えることについて、授業を通して指導することが重要であると感じた。
- ・ 教科と総合的な学習をつないだカリキュラム・マネジメント（6つの資質能力を教科の年間計画に記載する。また6つの資質能力を育成する場面を示した表を作成）